

# 和光病院 だより

Vol. 3



WAKO  
Hospital

2007 東京湾花火大会  
撮影者 小坂 由衣

## 暑中お見舞い申し上げます



### 必要な人に公正な医療サービスの提供を



院長  
齋藤 正彦  
さいとう まさひこ

巷間、後期高齢者医療保険制度がかまびすしく議論されています。この制度は、2年以上前に予告されたもので、制度の骨格もすでに明らかにされていたものでした。しかしながら、大がかりな制度変更であるにもかかわらず、実施直前まで、厚生労働省からも、報道機関からも、さっぱり説明が聞こえてきませんでした。あまりに静かなので、昨春秋以降、知らないうちに実施が凍結になったのではないだろうかと思つたほどでした。

バブルがはじけ、長い不況から何とか抜け出そうとしてもがいていたころ、市場原理至上主義とでも呼びたい単純明快な論理を振りかざして登場した小泉政権に、国民は喝采しました。マスコミも、政治家を改革派、守旧派と

色分けして、おもしろおかしくはやし立て、小泉改革を盛んに持ち上げました。その結果、『改革派』与党は衆議院の3分の2の議席を得ました。しかしながら、現在、日本の医療、福祉の現場でおこっている様々な問題の多くは、国民が熱狂したこの市場原理至上主義の当然の帰結であるように、私には思えます。そもそも、医療や福祉のような問題を市場原理に任せれば当然の事ながら収入の多寡で命や生活の質に著しい差が生じます。再び経済大国になっても不平等と差別がはびこる国の国民が幸福でありえるでしょうか。医療、福祉問題の本当の解決は、私たち国民が、将来のこの国の形についてしっかりと考え直すことを抜きにしてはあり得ないと思います。年金天引きの是非とか、自己負担率の引き下げとか、政府与党が苦し紛れに繰り出す小手先の制度変更は、混乱を助長するばかりです。

### 和光病院家族懇談会を開催

事務長 町野 謙  
まちの ゆずる

暑中お見舞い申し上げます。平成二十年も早いもので、半分が過ぎました。6月7日に、昨年に続き、第2回目の和光病院家族懇談会を開催いたしました。今回の家族懇談会では院長より「和光病院の現状と課題」についてお話ししました。ご多忙中にもかかわらず、144名(92家族)のご参加を賜り急遽、午前・午後2回に変更いたしました。会場が狭く、窮屈でご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

アンケート用紙にご記入いただきましたご意見等につきましては十分検討し、運営に役立て、これからもご期待に添えるよう職員一丸となり努力する所存です。よろしくご支援ご鞭撻の程お願い申し上げます。



## より良いケアの提供をめざして

看護部長

たしろ 睦江  
田代 睦江

今年も暑い夏がやってきました。看護部長室では4月からさらによりよい看護・介護を提供できるように新体制を整えました。

藤森美栄看護部長補佐は事故対策委員長と感染・褥瘡対策副委員長として、適切な安全対策の推進と院内感染防止対策の推進など、安全な医療環境の整備を担当しております。

認知症看護認定看護師の石川容子教育師長は職員教育の充実を、さらに石本芳信6階病棟師長は統括師長を兼任し、看護部全体の組織力及びチームワークの強化を進めております。

医療介護の現場では人員不足などの悩みは尽きませんが、いつも患者さんやご家族の皆様にご安心いただけるように頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。



## 医局より

開院7年目を迎え、和光病院は認知症の専門病院として新たなスタートをきりました。

医局は、斎藤院長（精神科）をはじめ、白濱副院長（内科）、浅見診療技術部長（内科）、犬尾医局長（内科）、西村医師（神経内科）の5名の常勤医と、宮本医師（精神科）、長坂医師（精神科）、岡村医師（精神科）、丹治医師（整形外科）、横山医師（皮膚科）の5名の非常勤医が所属し、7月から新たに常勤医として帖佐医師（精神科）が加わりました。計11名の医師に加え院長秘書の富塚が多忙な院長を支えています。

認知症であってもより豊かな日々を送るために何をしたらよいか、患者さんの治療はもろろんのこと、患者さんを抱えるご家族の皆様に対しても、看護・介護・co-worker とともに医学専門知識を提供することで少しでも支えになることができれば良いと願っています。

## 医局新任医師の紹介



犬尾 英里子  
医局長 内科



西村 敏樹  
神経内科医師



帖佐 隆  
精神科医師



岡村 毅  
精神科医師



藤森 美栄  
看護部長補佐



石川 容子  
教育師長



石本 芳信  
統括師長

## 看護部長室新任職員の紹介

## 認知リハビリテーション



松田 修  
臨床心理士

4月1日から非常勤職員として勤務している松田修です。所属はリハビリテーション科で、職種は臨床心理士です。毎週火曜日と第2、第4木曜日に勤務しています。火曜日は外来でメモリートレーニング（記憶の認知リハビリテーション）を行っています。木曜日は病棟で患者さんの行動評価を行っています。普段は、東京学芸大学の准教授として、認知症の評価や認知リハビリテーションに関する研究を行っています。現在、西村先生と一緒に病棟内の環境デザインに取り組み始めました。どのような環境デザインが患者さんの混乱や不安を減らすのか、どのような掲示や案内表示が患者さんにとってわかりやすいのかなどについて調べています。皆さん、気軽に声をかけてください。よろしくお願いたします。

外 来

当院の外来は、本来の外来業務の他に衛生材料の作成や医療器具等の滅菌及び物品管理、検査関係、職員の健康診断を担っています。外来受診は全て予約制で、多くはソーシャルワーカーの面談が行われてから外来受診となります。

当院を受診される患者さんは、自分の意思でこられる方はほとんどいらっしやいません。不安な気持ちで病院においでになる患者さんやご家族の皆様が、安心して穏やかな気持ちで外来受診ができるよう、私たちは誠意を持って援助する事を責務とします。どうぞ宜しくお願いいたします。



こいずみ 小泉主任  
あさくら 浅倉

薬 局

こんにちは薬局です。病院での薬剤師の仕事は、医師の処方せんに基づく薬の調剤はもちろん、薬の副作用や併用（飲み合わせ）による弊害などのチェック、外来の患者さんに適切な薬の飲み方の説明や指導を行っています。

外来患者さんがお持ちになる、「お薬手帳」についてですが、この手帳は薬の飲み合わせのチェックなど大変役立つもので、患者さんご自身が積極的に利用していただくことによって、ご自身やご家族の皆様の健康手帳としても活用していただけることと思えます。外来受診時にはどうぞお持ちください。



いしばし 石橋  
たかはし 高橋薬局長  
きりはら 桐原

放射線科

放射線科では外来及び入院の患者さんに対し様々な画像検査を施行し、医師の診断、ご家族の皆様への説明のサポートを行います。診療の質の向上に努めています。

昨年4月導入のCT装置により、高速に広域の撮影が可能となり、同時に視覚的に患者さんの様態が分かりやすい任意の断面及び3次元画像等の作成が可能になりました。

機械だらけの放射線科は患者さんに時には不安な思いをさせしてしまう事があるかもしれませんが、その分我々放射線科スタッフが笑顔で迅速に対応し少しでも不安を取り除けるよう一層努力をしていきます。



さとう 佐藤  
よこしま 横島  
ながい 永井

医 事 課

こんにちは医事課です。私達は1階正面玄関を入ってすぐの受付で、患者さんやご家族の皆様、事業所の方々に対して、受付に関する業務や電話対応などを行っています。

また医師や看護部・診療部の行う治療を診療点数に基づき、社会保険・国民保険、そして患者さんに医療費の請求業務をおこなっています。

これからも誠実に取り組み、病院の窓口として日々『笑顔』を心がけて皆様とお会いしてきたいと思えますので、お気軽にお声かけください。どうぞ宜しくお願いいたします。



ひらい 平井  
おおた 大田  
はしばた 橋端  
あらい 新井副主任

## お買い物

### 2階病棟

雨の多い6月の貴重な晴天のもと、日頃外出の機会の少ない患者さん4名とスタッフ3名で、隣接しているコンビニエンスストアへ散歩も兼ねて往復30分程の買い物ツアーに行きました。

久しぶりの買い物に戸惑われる場面もありましたが、陳列された商品をじっくりと眺めたり、店内にいた親子連れのお客さんに声を掛けたりと病棟内では見ることでできない楽しいようなご様子が見られました。コンビニエンスストアが初めての患者さんもいらして店内の商品の豊富さや便利さに驚かれ、とてもうれしそうなご様子でした。最後に患者さんのご希望でジュースとアイスクリームを召し上がっていただいてツアーの終了となりました。



## 外食を楽しんで

### 3階病棟

5月に誕生日をお迎えになられた患者さんがKさんお一人とということ、思い切って3階病棟初となる「外に出て楽しんでいただけ」お祝いを企画しました。

5月21日、看護師・介護士1名ずつ付き添い、ファミリールレストランで昼食を楽しみながら87歳のお誕生日をお祝いしました。お好きな物を頼んでいただき、Kさんも笑顔でお喋りに花が咲きました。Kさんが「有楽町のレストランでの食事会だったのよ」とおっしゃった事に、スタッフも幸せな気分になりました。今後も様々な企画を提案していきたいと思えます。



## ケーキを作る

### 4階病棟

4階病棟では、ほぼ月1回食事レクリエーション(食レク)を行っています。

5月は病院前の畑で患者さんと共に収穫した苺と生クリームを使って、患者さんに思い思いのデコレーションを施していただき、大きなデコレーションケーキを作りました。出来上がったケーキは4つ。どれも個性的でおいしそうです。大きくて丸いケーキの前に患者さんも笑顔になります。

このように食レクを通して、季節や旬の食べ物を感じ、作る喜びや食べる楽しさを実感していただければと思います。これからも栄養科のスタッフと協力して、少しでも多くの患者さんが参加できる様な食レクを企画していきたいと思っております。



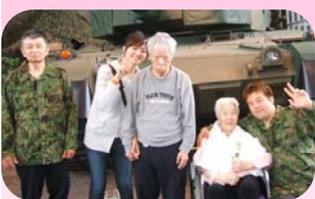
## 陸上自衛隊広報センター見学

### 5階病棟

5階病棟では、晴天に恵まれた5月28日、患者さん3名とスタッフ3名で陸上自衛隊広報センターへ行ってきました。

ここは、陸上自衛隊がさまざまな資料の展示や、イベントを行う無料施設です。このような施設への外出は初めてで、少々の不安もありましたが、患者さんは終始にこやかで、展示品に触れたり、迷彩服を身にまとい偵察用オートバイにまたがるなど積極的に体験されていました。

外出後の患者さんは表情も明るく、私達も自然と笑顔が増えました。今後患者さん、スタッフ共々楽しみながら、安全面にも充分気を配り外出を楽しんでいきたいと考えています。



お花倶楽部

6階病棟

今年3月より6階病棟のレクリエーションとして『お花倶楽部』を始めました。

患者さんが花器、花瓶を選び、剣山やオアシスに自由に花を生けていただきます。初めは、生け方などに戸惑う方もいらっしゃいましたが、色合い、高さ、量などに工夫をこらし、独創的で個性豊かな作品が出来上がります。皆さんの表情も明るく、目が輝き、集中して取り組んでいらっしゃいました。

6月は3階から2名、4階から2名、5階から2名の患者さんのご参加をいただきました。これからも季節感あふれるお花を各病棟に届けられたら嬉しいですね。

次回についての詳細は、エレベーターに掲示いたします。ご家族の皆様のご参加もお待ちしております。



避難訓練を行いました

火事や大規模災害などが発生した時、患者さんを如何に迅速にまた安全に避難誘導することが出来るかということを中心に、昨年の11月22日に1回目の訓練、本年3月19日に2回目の訓練を行いました。

3月の訓練は、デイルームに集合している患者さんを非常階段で地上に降ろすという訓練でした。先ずデイルームから非常階段のあるA翼（南側）に実際の入院患者さんを搬送し、そこで10分程度患者さんの動きを見守りました。非常階段を使用し地上に降ろす訓練ではスタッフが患者さんに扮し、「おんぶ帯」と「レスキュー・キャリアーマット」を使用しました。同時に目隠しをした模擬視覚障害者の避難誘導訓練も行いました。

最終的には、2回の訓練を通じて、避難・誘導マニュアルがより現実的なものとなりました。



模擬視覚障害者の避難誘導



おんぶ帯



レスキュー・キャリアーマット



第三者評価委員会

本年度から、病院の第三者評価委員会が発足しました。委員には、看護、介護、倫理、法律の専門家に加え、ご家族の皆様の意見を代弁していただくために、介護経験をお持ちの方にもご就任いただきました。

今後、委員の方々には、3ヶ月ごとに2時間ずつ、病院内を視察していただき、患者さんの人権擁護に関する事柄に留まらず、それぞれの視点から、ケアのあり方に関する率直なご指摘をいただくことになっていきます。6ヶ月に1度ずつ、委員の先生方と、病棟の管理責任者との会合を持ち、直接話し合う機会も設ける予定です。6月11日現在、すでに、二人の委員による視察が終了し、厳しいながらも温かいご指摘をいただき、看護部を中心に改善の方法を検討しているところです。

ご家族の皆様からも、引き続き、率直なご意見をいただくことを期待しております。

## 音楽療法

音楽療法士 佐々木 和佳

本年4月より、毎週月曜日の音楽療法の時間を担当しております。

現在の当院の音楽療法の活動は、午前中に2階・3階病棟で少人数での活動を行い、午後は2階～5階で月1回ずつ大集団での活動を行っています。6階病棟では、以前から担当している音楽療法士が月1回土曜日に行っています。

少人数での音楽療法では、お一人お一人の状態に即した活動の目的を検討して行います。主な活動は、ベッドサイドでのリラクゼーションとしての音楽の提供、音を媒介として自己表現を促す活動、言葉を用いず音でのやり取りを行う非言語的な関わり等です。病棟での大集団の音楽療法では、「楽しんでいただくこと」を前提に、発散や気分転換の時間になるように心がけ、主に馴染みの歌の歌唱を行っています。



また、患者さんからのリクエスト曲にも可能な限りその場でお応えしています。なかには、馴染みの歌が聞こえると自然と歌を口ずさまれたり、立って踊られたり、思い出を話してくださる方がいらつしやいます。患者さんの生き生きとした表情や楽しまれている様子を拝見するととても嬉しくなります。

音楽療法ならではの関わりである、「音」を媒介として、お一人お一人の「その人らしさ」を大切に關わっていきたくと思えます。また適切なケアの一つとなるように、他職種との連携を密にしていこうと思えます。

お時間がございましたらご家族の皆様にもご一緒に参加いただければ幸いです。



## 第一回和光病院家族教室開催

当院では、外来通院患者さんのご家族の皆様を対象とした家族教室を6月から12月までの毎月第2金曜日13時30分～15時30分まで、開催します。

家族教室では認知症についての勉強会と、交流を目的として茶話会を行います。認知症に関する理解を深めたい方など皆様のご参加をお待ちしております。お申し込みや詳細につきましては、医療福祉相談室までお問い合わせください。

## 花火を見る会

8月2日土曜日、第50回板橋花火大会が行われます。今回は50回大会ということで、『尺玉満喫』をキャッチフレーズに、対岸の戸田市の花火と合わせて一万一千発が予定されております。和光病院の各階のダイニングや屋上からよく眺めることができ、多目的ホールではハワイアン演奏も予定しております。どうぞお誘い合わせの上お出かけ下さい。

## 名画を観る会

毎月1回、7階の多目的ホールにて「名画を観る会」を行っています。始めたきっかけは、入院患者さんからの「昼飯を抜いても映画を観に行っていたほど好きだった」の一言。今では、洋画、邦画、新旧を問わず、幅広いジャンルを設定しております。日頃の病棟生活から離れ、本物の映画館のような雰囲気を感じられるように配慮しています。2時間から3時間の長丁場の映画でも、皆さん真剣に、時には笑いあり、涙ありの場面を楽しまれているようです。「懐かしい」「楽しかった」などの患者さんの感想を聞くと、スタッフも、患者さんの歩んでこられた時代背景を探ることができそうです。

1階の掲示板や、エレベーターでポスター掲示をしておりますので、お誘い合わせの上、ご参加ください。





「和光病院だより 3号」 発行日 2008/7/10 編集・発行 和光病院広報委員会

〒351-0111 埼玉県和光市下新倉 5-19-7 TEL 048-450-3311・FAX 048-466-0811

URL <http://www.wako-hos.jp> E-mail [info@wako-hos.jp](mailto:info@wako-hos.jp)

### 編集後記

猛暑の夏がやって参りました。ご家族の皆様にはますますご健勝のこととお察し申し上げます。

「和光病院だより第3号」がやっと出来上がりました。家族懇談会や全職員参加型の防災訓練などの大きなイベントも無事終え、本年も後半に入りました。

より良い医療の提供を目指し、本誌が病院の情報誌から患者さんやご家族の皆様の声を反映する機関誌の役目を果たせるように努力していきたいと考えております。よろしくお願いたします。

### 和光病院の使命

「私たちの使命は、加齢に伴う精神と身体の病気で苦しむ人に、必要な医療サービスとケアを提供することです。」

私たちは、誠実さと、公正さと、謙虚さとを、行動の規範とします。

- ・自分たちの使命を誠実に遂行すること
- ・患者さんを経済力や、社会的立場で差別することなく、公正であること
- ・謙虚な姿勢で仕事に取り組み、職業的能力の向上に努力すること

広報委員長／白濱龍興 広報副委員長／横島義則

広報委員／・町野譲 ・田代睦江 ・栗原眞須美 ・本多学 ・大田慶子 ・香田万里 ・小坂由衣 ・落合真弓

・三浦恵美 ・吉川明子 ・大山恵 ・門脇由美子 ・加藤弥生 ・鳥飼雅司